

2022年
5月9日頃
発売予定ダウン症児のおかあさんが、
競争に疲れた保護者や先生方にお送りする1冊

子どもたちはみんな 多様ななかで 学びあう

いま求められるインクルーシブ教育

本書でお伝えしたいことは、障害のある子どもたちをはじめ、母子家庭や貧困家庭の子、外国籍の子、そして、ギフテッドと呼ばれる特殊な才能に恵まれた子など、多様な子どもたちが区別されることなく、包括的に(インクルーシブに)一緒に学び遊ぶことで、ノビノビ、スクスクと成長する、それが真の教育であるということです。

価格 **1,980円**
(本体1,800円+税)

判型 A5変形

頁数 260ページ

発売日 2022年5月9日頃

ISBN 978-4-909363-12-1

著者 佐々木サミュエルズ 純子

長野県生まれ。2022年現在大阪在住。2人の男児の母。夫はニュージーランド人でもあり英国人でもある(が、本人はニュージーランド人だと思っている)。1990年代にイギリスの大学に入学し卒業後は現地で就職。その後、永住権を取得し現地に骨をうずめるつもりで生活していたが、縁あって結婚した夫のたつての希望で日本に移住。移住して間もなく長男を妊娠・出産。わくわく育ちあいの会代表(旧・インクルーシブ教育をすすめる会)。子育てと仕事に奮闘する毎日で趣味がないのが悩み。会の定例会や地域の保護者のボランティア活動などで人に会って癒されている。

本書の概要

第1部 著者、佐々木サミュエルズ純子の手記 息子ジェイミーの小学校入学の苦労と、小学校6年間の成長

- 対談**
- NHK Eテレ『バリバラ』コメンテーター **玉木 幸則**さん
多くの国では、インクルーシブ教育が当たり前
 - 東京大学大学院教育学研究科教授 **小国 喜弘**さん
競争をおおる“人材教育”から人権保障教育へ
 - ゆとりある教育を求め
全国の教育条件を調べる会事務局長 **山崎 洋介**さん
いまの教育に圧倒的に足りないのは「人」と「お金」
 - 国連NGO子どもの権利条約
総合研究所研究員 **吉永 省三**さん
「子どもの最善の利益」は、子どもの話を聴くことから

ご注文は JRC へ (株式会社JRC経由で、すべての取次への出荷が可能です。)

FAX

03-3294-2177

※返品は長期にお受けいたします。

番線印

発行 アイエス・エヌ株式会社

TEL 06-6948-8081

子どもたちはみんな 多様ななかで学びあう

佐々木サミュエルズ 純子 著 / A5 変形 / 260ページ / ソフトカバー
1,980円 (本体1,800円+税) / ISBN 978-4-909363-12-1

ご注文申込書

部数

冊